

当金庫の中小企業支援により、 取引先が大手企業と共同開発契約を締結

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋 知史）は、「シティ信金PLUS事業」として、取引先中小企業の販路拡大や新製品・新規事業創出を積極的に支援しています。

今般、当金庫取引先企業である株式会社木幡計器製作所（大阪市大正区、以下、木幡計器製作所）が、大阪に本社を置くシャープ株式会社（以下、シャープ）との間で、シャープのIoTセンサ用電源（色素増感太陽電池）を用いた低消費電力センサ通信モジュールの試作開発を共同で行い、さらにその製品化・事業化に向けた共同開発契約を締結しました。

両社の連携は、当金庫が大阪・東大阪・八尾・守口門真の4商工会議所と共同で2014年3月～2017年3月まで開催していた「MOTTO PLUS 事業 中小企業事業化勉強会」が端緒となりました。シャープの保有技術・サービスを対象とした2017年3月の勉強会において、木幡計器製作所がシャープのIoTセンサ用電源を活用した事業化提案を行い、これが採用されたことから両社の連携がスタートし、今般の共同開発に至りました。

この勉強会は、当金庫の取引先中小企業支援事業である「シティ信金PLUS事業」と、大阪商工会議所のオープンイノベーション事業「MOTTO OSAKA フォーラム」をベースとし、大手企業の保有する技術やサービスを中小企業が活用して製品化・事業化することを目指して実施していた事業です。

当金庫は、今後も取引先中小企業の支援を積極的に行い、地域金融機関として、地元・大阪の発展に寄与してまいります。



大阪産業創造館で開催された「センサ／IoT技術展2018」で試作品を展示

以上